



(別添) 20210330プレスリリース資料

※令和3年3月30日 プレスリリース済

令和3年3月30日

自然環境課、年縞博物館

担当者: 自然環境課 小高、年縞博物館 松井、伊戸

電話: 0776-20-0304(課)、0770-45-0456(博物館)

代表(内線): 0776-21-1111(内線2460)

メール: varve-museum@pref.fukui.lg.jp

紹介: <http://varve-museum.pref.fukui.lg.jp>

年縞博物館の「第2回日本博物館協会賞」受賞が決定しました！

このたび、年縞博物館が「第2回日本博物館協会賞」を受賞することが決定したので、お知らせします。賞の概要は以下のとおり、受賞決定にあたっての知事コメントは別添のとおりです。

なお、年縞博物館では、受賞決定を記念し、記念事業を行いますので、合わせてお知らせします。

記

- 表彰団体 公益財団法人日本博物館協会
(会長 銭谷眞美 東京国立博物館長)
- 表彰目的 博物館の振興に大きく貢献し、他の博物館の模範となる
顕著な成果をあげていると認められる施設の顕彰
- 年縞博物館の受賞理由 (ポイント)
 - ・45mの年縞スタンドグラス展示などデザイン性に優れた展示
 - ・学術的・国際的に価値ある年縞の長年にわたる研究
 - ・縄文博物館との共同展示など地域活性化への貢献 など
- 今後の日程 (予定)
 - ・表彰式 第69回全国博物館大会 (令和3年11月17日、札幌市)
 - ・全国博物館長会議 (令和4年6月、東京) でのスピーチ
 - ・国際会議The Best in Heritage (令和4年9月、クロアチア) に
日本代表として参加、プレゼン実施
- 受賞決定の記念事業 (日程等が決まり次第、詳細を改めて発表)
 - ・博物館エントランスでの受賞決定パネル等の掲示
 - ・記念特別展の開催 (4月下旬～5月末)
 - ・中川毅立命館大教授による特別ガイドツアー
 - ・来館者への記念品プレゼント

(参考)

- ・本賞は、博物館協会の設立90周年を記念した特別表彰 (平成30年) を契機として、令和元年度に創設された。
- ・令和元年度は2館受賞 (ちひろ美術館 (東京、安曇野)、北名古屋市歴史民族資料館)。令和2年度は年縞博物館のみ。
- ・選考は、博物館協会が設置した選考委員会の委員の推薦による。

令和3年3月30日

知事コメント
（「第2回日本博物館協会賞」受賞決定）

全国に博物館・美術館等が5,700余ある中、年縞博物館が唯一選ばれたことは、誠に栄誉なことであり、とても喜ばしい。

今回の表彰では、展示はもとより、研究や運営面も含めた博物館活動全体を高く評価いただいた。これもひとえに、山根一真特別館長、中川毅教授や立命館大学、地元若狭町など関係各位のご理解やご協力、そして何より、県内外から来館いただいた皆さまの応援の賜物である。

今回の受賞を励みに、博物館としての魅力充実と、水月湖年縞の国内外への発信や年縞研究をさらに推し進め、より多くの皆さんに満足いただける博物館となるよう、なお一層尽力していく。



年縞博物館 —— 日本博物館協会賞の栄誉

公益財団法人日本博物館協会から、「第2回日本博物館協会賞は福井県年縞博物館に決定」という知らせを受けました。

年縞博物館は2018年9月に開館、発足してまだ2年半ですが、水月湖の「年縞」の研究結果だけを伝える小さな博物館です。しかし、全国5738館（文化庁による）から日本のNo.1の博物館に選ばれたことは、福井県にとって大きな誇りとなりました。日本博物館協会はこの賞の受賞条件を、「日本の博物館の振興に大きく貢献、他の博物館の模範となる顕著な成果を挙げていると認められる国内施設」と記しています。

水月湖の年縞の最初の掘削は1991年でしたが、中川毅さん（現・年縞博物館研究マネージャー、立命館大学教授）によって7万年分、45mの完全な年縞を得ることができたのはその15年後の2006年のことでした。水月湖の年縞は日欧の科学者たちによって科学的な解析が進み、2013年には年代決定のモノサシの世界標準に初めて採用されました。また、縞々に残されている花粉の分析によって過去7万年間の気候変動も解き明かされています。

年縞博物館は単にその年縞の現物展示にとどまらず、来館者に対してナビゲーターが年縞科学者たちの知恵と技術を駆使した取り組み、さらに最新の研究成果をていねいに説明しています。博物館は「モノとコトの発信施設」と言われていますが、年縞博物館はそれに加えて年縞研究者という「ヒト」の情熱や挑戦を、ナビゲーターという「ヒト」が熱く語り伝えている点も、受賞理由だったのではないかと思います。

45m、7万年分の年縞が残されていた水月湖は世界でも例がない「奇跡の湖」と呼ばれてきましたが、年縞博物館が全国の5738館からNo.1に選ばれたことは「奇跡の湖」にふさわしい栄誉です。今後も来館者の皆さんがより深い理解と感動が得られる場としての充実をはかっていきたいと気を引き締めています。

やまね かずま

福井県年縞博物館 特別館長 **山根一真**